

▼別ショットの写真



た。あ  
る。こ  
の。姿  
が。あ  
り。ま  
し。  
た。  
の。姿  
を。見  
て。思  
わ。な  
い。な  
ら。ば  
。笑。顔  
。に  
な。る  
。こ  
の。姿  
が。あ  
り。ま  
し。  
た。

今月の表紙は、5月21日に行われた坂崎小学校運動会での1枚です。当日は晴天に恵まれ、この日のために練習してきた成果を家族に見てもらおうと、精一杯演技する児童たち。家族の姿を見つけて思わず笑顔になる児童の姿がありました。

今月の表紙

みんなの  
広場

作品の応募をお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ  
☎62-1111(内線334) FAX63-5139  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

こたの民話

ひめ田

いつのころのことでしたが、荻の下の村に、一人の女の人が流されてきました。その人の名前は、お浜といいました。なんでも、よくないことがあったというので、ここに流されてきたのだ、ということでした。そして、荻の稲荷山(寺山)にそまつな家を建てて、住むようになりま

した。見れば、品のある、身分の高いお姫さんではありませんか。村の人たちはおいたわしやと、なにくれとなくお世話をするようになりま

した。姫のお父さんやお母さんは、「あの子は体の弱い子だった。草深い荻の村でどんな暮らしをしているのだろうか。もしや困っていないだろうか…。」

「きっと心細い思いをしていることでしょう。罪は罪、なにか娘のためになるようなことをしてやることはできないでしょうか。」

いろいろ考えた末、お化粧の費用にということで、田んぼを買い与えました。村の人たちは、この田んぼ

をひめ田と呼びました。

しばらくして、姫は、屋敷の近くにとあるお社を建てました。なつかしいふる里の八幡様を移して、朝な夕なに、ふる里をしのび、お父さんやお母さんの無事や、一日も早く罪が許されるようにとお祈りしていました。

ところが、姫は、ふとしたことから病の床にふすようになりま

した。どんなにかつらく悲しかったことでしょう。「もう、あのなつかしいふる里を見ることはできないのだろうか。」

「お父さん、お母さん。先だつ親不孝をお許してください。」  
「ああ、もう私はだめ。お父さん、お母さん。助けて…」  
という、悲しい声をのこして、息をひきとってしまわれま

した。村の人達は、なげき悲しむとともに、日ごろお姫さんが使ってみえたかんざしといっしょに、姫のなきがらをねんごろにほうむりました。

【こたの民話 要約】

みんなの作品展!

平成28年度 幸田文化協会春の文化展  
紙画研究会ちぎり絵展からのセレクトです



いわせ のりこ  
岩瀬 紀子 さん



くろやなぎ まさこ  
畔柳 政子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

「いてがわるい」

7月。プール開きも終わり、子どもたちの歓声が響き渡ります。そんな小学校から帰って来たおにいちゃん…  
「おじーちゃん、町民プール行こまい」  
「行くはいーけど、おらー、泳ぐはいてがわるいだわ」

(前略)  
「行くのは構わないが、私は泳ぐのが得意ではないのだよ」という意味です。  
「いてがわるい」とは、「得手が悪い」が転じたもので、得意ではない、苦手なさまを意味します。逆に、得意なさまをこの地方では、「いてがいー」といい、もちろんこれは、「得手が良い」が転じたものですが「得手」だけでも、「得意」を意味するのには、この地方では、わざわざ「得手が良い」とか「悪い」とかいうのは、どうしてなのでしょうか。

「得手」には、「得意」のほかに、「得手勝手」の意味もあるそうです。「得手勝手」とは、自分に都合が良いように振る舞うさまを意味します。ですので、自分にとって都合が良いか悪いかを、「勝手が良い」とか「悪い」とかいうのと同じく、「得手が良い」とか「悪い」とかいついていたのが、「得意」か「得意でない」かの意味に転じたものと考えます。

(文) ぐんま



青春トークリレー  
第280走者

すずき まな  
鈴木 麻那さん

鷺田区在住 21歳  
職業 非常勤講師  
身長 165cm 血液型 O型  
好きなタイプ 明るくておもしろい、たくさん食べる人  
好きな芸能人 トータルテンボス

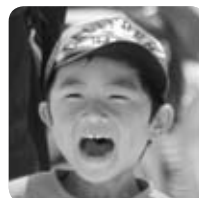
私は今、幸田南部中学校で保健体育の教員をしています。昨年教育実習でお世話になり、今年非常勤講師として勤めることができ、とてもやりがいのある日々を過ごしています。まだ未熟ではありますが、多くの生徒に元気を与えられるような教員になりたいと思っています。自分が生まれ育った大好きな幸田町で働ける喜びを噛みしめながら頑張りたいです。

また、小学生の頃から始めたバレーボールを今でも続けています。7月からは毎月町のバレーボール大会もあります。私のチームは未だ優勝したことがないので、今年こそチームの仲間と優勝を目指したいと思います。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
企画政策課まで。  
本人のご家族にお渡しできます。



わんぱくばやし

「某月某日」  
「豊坂保育園」

ぶよぶよだまお

朝から日差しがまぶしい日は、絶好のどろんこ日和。どろんこの格好に身を固め、いざ出陣。

遊び始めたころは、ためらっていた子もいましたが、一度その楽しさがわかると、どの子も水たまりに素足でどろんどろん入っていくようになりました。土の感触を味わい、全身泥パック状態の子どもたちは「これ見て」と言わんばかりに、アピールもしてきます。



また、日ごろやっている泥だんご作りを、その日は泥水に囲まれ優雅？に丸めています。遠くから見ていると、まるで潮干狩りをしているかのようです。どの子もそれぞれの遊び方でどろんこを楽しんでいます。もちろん遊んだ後



は、温かいシャワーですつきり！それもまた気持ちがいいうれしい瞬間です。開放感いっぱいこのどろんこ遊びは、なかなか家庭ではできないことだけに、経験できる機会を多く作っていきたいと思います。

編集者のちょっとわらい

イスから立ち上がるだけで、足をねんざしそうになった編集者のKです。

先月号で予告したとおり、小学校の運動会と消防団の春の総合訓練（競練会）の取材に行ってきました。小学校の運動会は、坂崎小学校と幸田小学校にお邪魔してきました。坂崎小学校ではおどりの最中にBGMがとんでしまい、もう1回最初からなんていうハプニングもありましたが、観客からは笑い声が聞こえてきて温かい雰囲気でした。幸田小学校では、気合の入った組立体操がすばしかったです。砂煙をあげながらの力技や観客にイメージをさせる創造作品など盛り沢山で感動しました。その瞬間をとらえた写真は残念ながら…（涙）

消防団の競練会は、当日あいにくの雨模様でしたが、町内にある4つの分団が優勝を目指して4つの部門で消防操法の節度や迅速性を競いました。団員の皆さんは本業を別に持ちながら、早朝や夜間、休日にみんなで集まり訓練を積んできた成果を発揮しようとして、競技の前には円陣を組んで気合を入れていました。

さて、次回は7月のユニバーサルホッケー大会、幸田彦左まつりでお会いしましょう（K）